

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	広島南コア・フードバンク事業
事業名(副) ※任意	

入力数 主 14 字 副 0 字

実行団体名	特定非営利活動法人環境保全創生委員会
資金分配団体名	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

優先的に解決すべき社会の諸課題

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

入力数 0 字

SDGsとの関連

ゴール
_1.貧困をなくそう
_2.飢餓をゼロに
_3.すべての人に健康と福祉を

実施時期	2021年7月 ~ 2021年12月	事業 対象地域	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> (広島市南地域)	事業対象者： (事業で直接介 入する対象者 と、その他最終 受益者を含む)	子ども食堂、学生、公施設利用者等	事業 対象者人 数	100人~200人
------	--------------------	------------	--	---	------------------	-----------------	-----------

I.団体の社会的役割

(1)団体の目的
当法人の定款第3条には「この法人は、県民、行政、企業に対して環境保全の創生、次世代を担う子供たちの育成に関する事業を行い、地域社会全体の利益増進に寄与する。」と定めており、基本理念です。 平成13年に認証されて以来、一貫して地域の社会福祉活動を行っており、引き続き新型コロナウイルス禍の中で経済的弱者の一人でも二人でも救済できるような仕組みづくり、地域ソーシャルワーク構築に邁進致します。
(2)団体の概要・事業内容等
現在、当法人の主たる事業は、 ①広島市の指定管理業務 ②マリーナの清掃管理業務等 ③その他、地域の社会福祉団体の役員として貢献している

入力数 (1) 198 字 (2) 71 字

II.事業の背景・社会課題

新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題
当法人は、従来から、地元、子ども食堂への協力・支援等を行っています。 現在の大きな課題は、①近くにフードバンクがないため、広島市安佐北区へその都度食材を取りに行かなければならないこと、②ボランティアが増えないこと等です。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束したあかつきに、地元でフードバンクが設置され、新鮮な食材によりおいしい食事が提供できる子ども食堂再開を強く望んでいます。 また、多くの社会奉仕団体、地域団体から、食材の保管庫がないため、拡大運営が難しい旨、要望を受けています。しかし、当面直ちに土地、建物、人材を調達してフードバンクを新設することは難しいと思われます。そこで、当法人がこれまで持ち合わせているスキルと当面保管施設を提供し、広島南地域をカバーするフードセンターを創設することといたしました。

入力数 360 字

III.事業内容

<p>(1)事業の概要</p> <p>当法人は、20年間にわたる社会福祉事業のノウハウとスキルを活かし、フードバンクを開設しようとするものです。具体的には、提供ビル1階部分に、冷凍庫、冷蔵庫、常温保管庫当の設備を設置し、フードバンクとして運用します。</p> <p>本事業においては、広島南地域をカバーする”ハブの機能”を有したフードバンクを設置しようとするものです。なお、自己完結による長期継続運営の観点から、ランニングコストは極力抑制するため、地元ボランティアバンクの活用、NPO会員の増員等により、食品ロス削減を図る一つの手段としての役割を果たすことを目指しています。</p>
--

入力数 265 字

<p>(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態</p> <p>今後受け入れ施設の整備をしつつ、寄附者と受贈者との安定的なバランスを図って行きます。寄附者としてはNPO法人会員、地方自治体に働きかけ、受贈者としては老人いこいの家利用者、こども食堂、特に広島市社会福祉協議会と食品提供事業の合意を整え、南区で存在を認められるフードバンクとして活動している。</p>
--

入力数 146 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
①冷蔵冷凍庫等が揃い、清潔な保管機能を有した倉庫が整備されている。	①倉庫の完成の有無	①目視	①計画通りの倉庫ができていること	①2021年9月
②フードバンク機能が整い、事業が行われている状態になっている。	②A:支援者数 B:物資量 C:仕組みの有無 D:人材の有無	②ABD：リストへの記録 C：実態の確認	② A:3件 B:250kg/月×3か月 750kg C:事業が問題なく行われている D:8人/延・月	②2021年12月
③運営委員会が運営され、広島フードバンク協議会へも参加している。	③運営委員会が運営されている、協議会へ参加している。	③実態の確認	③運営委員会（2～3回開催）、開催される会議にすべて参加	③2021年12月

(4)活動	時期
①フードバンク拠点（倉庫）に冷蔵冷凍庫等をそろえ、清潔な補完機能を有した倉庫整備を行う。	①2021年7月～9月
②フードバンク機能の整備 物資支援者の獲得、物資提供者の獲得、流通の構築、担い手の確保	②2021年7月～12月
③フードバンク運営の整備 運営委員会の設立・運営、広島フードバンク協議会への参加、広報・寄付戦略	③2021年7月～12月

IV.事業実施体制

<p>(1)メンバー構成と各メンバーの役割</p> <p>本事業運営の責任者は理事長が専任し、これに担当理事1名が補佐します。 収集・配送はパート職員2名、苦情処理・対外折衝は正規の消費生活アドバイザーが担当します。 財務経理は弥生会計により、監査、申告は税理士に委託しています。</p>
<p>(2)他団体との連携体制</p> <p>①当法人理事長が理事をしている広島市南区社会福祉協議会と定期的に打合せ会議を設け、連絡調整を図ります。 ②全国フードバンクへの加入促進を図ります。</p>
<p>(3)想定されるリスクと管理体制</p> <p>想定されるリスクは、①クレームの発生 ②新型コロナ等感染症の発生 ③風水害の自然災害等であり、管理体制は「リスク管理規程」を制定し、これにより管理体制を整えます。</p>

V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無				
新型コロナウイルス感染症に係る事業				
①本申請事業について、新型コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細	
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）		
(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績				
当NPO法人は地区社会福祉事業各種団体の役員を兼務しており、この経験と人脈を活かし、現在すでに本事業を行っている団体と連絡・調整を行い、効率的運営を目指しています。 また、本事業を実施するに当たり、「広島フードバンク協議会」を設立し、そして、全国的関連団体にも加盟し、組織的・効率的、そして一般社会に認知されるよう努めます。				